

菊池幽芳 小説家。明治二年十月、千七百常陸國生れ、(昭和)一  
 十一年七月、千七百歿(八七〇—一九四七)。本名清。筆名あきしく、幽芳  
 生、浪華幽芳。明治二十一年茨城県尋常中學校卒。小學校教員を経て、  
 二十四年大阪毎日新聞社入社。記者の傍ら家庭小説を發表、新聞小説  
 界の第一人者となる。英文學者戸澤姉射は實弟。『幽芳全集』全十五  
 卷(大正十三年—十四年國民圖書株式會社)、『菊池幽芳全集』全四  
 卷(昭和八年一月一日—七月十九日改造社)刊。

著譯書 『明治喜劇叢譚』(本名、編、明治二十五年九月、千七百大阪・松  
 井書店)、『家庭の珠・第一』(あきしく名、編、明治二十三年七月  
 二十一日大阪・駿々堂)、『己が罪』全三冊(前編・明治二十二年八  
 月十一日、中編・二十四年一月一日春陽堂)、『波助秋の夜ほほし』  
 (あきしく名、編、明治二十二年十一月十五日大阪・駿々堂)、『異  
 話瑣談片々』(同、編、明治二十四年一月五日大阪・駿々堂)、『よ  
 りちやん』(幽芳名、明治二十四年五月二十日大阪・金尾文淵堂書  
 店)、『若妻・後編』(明治二十五年十一月十六日春陽堂)、ライ  
 ナー、ハツガード作『入女王』(幽芳名、譯、明治二十六年五月)一  
 十(八百春陽堂)、『日本海周遊記』(明治二十六年七月十一日春陽  
 堂)、『二人娘』(明治二十七年一月  
 二十日駿々堂出版局)、『春の野若子』

(再版・明治二十八年)二月十一日大阪  
 ・駿々堂)、『疏  
 球と為朝』(明治  
 四十一年五月一日又祿堂書店)、『百合子』(合



本・大正二年四月、二十五日金尾文淵堂）、『乳姉妹』（縮刷合本・大

正二年十一月十八日春陽堂）、『無言の

誓』（再版・大正四年九月五日大阪・

駿々堂書店「大正文庫」）、『幽霊方集』

（大正四年十月一日全誠堂書店「大正名

著文庫」）、『毒草・お母の巻』（大正

五年十一月八日至誠堂書店）、『朝鮮金剛山探勝記』（大正七年七月一

十八日洛陽堂）、『賣花娘』（大正八年七月十二日東京小説出版社）、

『ロート作「家なき兒』（譯、昭和二年二月十五日改定社「世界大衆文

學全集」）、『日本八景』（内題「日本八景紀行」）著者、大阪毎日新

聞社編、昭和二年八月一日大阪・大阪毎日新聞社）、『菊池幽霊方集』

（昭和四年五月一日新潮社「現代長篇小説全集」）等。

